

を制定し其の成績の向上能率の増進を図り

## 東北地方

### 青森縣修路工夫の表彰

道路交通運輸の便否は其の改良と維持の良否に依るは言を俟たざるなり而して維持にありては之と密接の關係を有する地元住民の奉仕的愛護に俟たざるべからざるものあるも更に又擔當修路工夫の双肩に懸る所極めて多大なり仍て之が成績の向上能率増進の方途を講じ其の成績拔群他の模範とするに足る者を表彰し一般修路工夫の發奮を促し加之自己をして將來益々職務に精勵せしめ以て道路維持の實績を擧ぐるは現下の急務なるに考へ客年六月修路工夫表彰規程



たるに果せる哉各自業務に對し一段精勵努力し成績顯著なるものあるを認むるに至れり然るに表彰規程に基き土木出張所長より之が表彰を内申せるに對し審査委員會に於て十一年四月より十月に至る七ヶ月間に於ける土木出張所長より毎月の作業成績報告及道路維持の實況等に稽へ厳密審査の結果成績優良と認むる者の中より一等三名、二等十六名、三等二十二名、計四十一名を選定し、十一月二十四日午前十一時縣農會々議室に於て第一回の本縣修路工夫表彰の式典を舉行せり。而して參列せるは來賓を初め管下八土木出張所長及表彰者全員にして場内立錫の餘地なき盛況を呈したり。今其の次第を述ぶるに先づ道路主事の開會の辭に次いで審査委員長の審査報告あり、續いて一等賞高木豐吉外二名、二等賞川浪新太郎外十五名、三等賞田村與三郎外二十一名に對し表彰狀及一等金十五圓、二等金十圓三等金五圓を添へ個々に授與し知事の懇篤なる訓辭ありたるに對し、受賞者總代の答辭ありて正午無滯閉會を告ぐ式後直ちに關係者一同の記念撮影をなし又土木課長司會下に座談會を開催す。先づ土木課長には今

同の榮譽を讃したる上修路工夫の勤務に付懇切周到に諭示し益々成績の向上を要望し又作業に關し希望を述べ注意を促しつゝ間

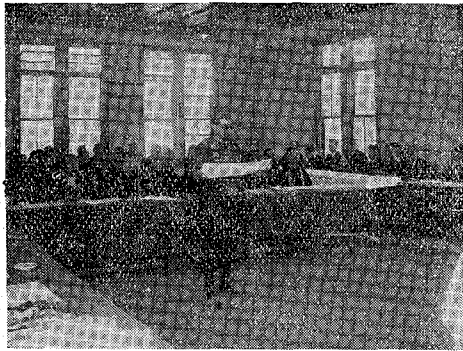


答を重ね以て作業を効果的ならしむべく指導し、聽て準備の晝食を攝り談笑和氣謔々裡に午後二時閉會を告げ各自回の必勝を期し勇躍歸途に就けり。

惟ふに此の表彰たるや幾多の修路工夫をして蹴然奮起せしめ延びて地元住民の道路愛護心を喚起せしむる等道路管理上裨益す

地方通信

るもの蓋し甚大なるものあるべく社會風教



上貢獻する所亦尠からざるべきを信ず。青森縣訓令甲第十三號

經 濟 部  
各土木出張所  
青森縣修路工夫表彰規程左ノ通定ム

昭和十一年六月四日

青森縣知事 小林 光 政

青森縣修路工夫表彰規程

第一條 修路工夫ニシテ平素業務ニ精勵シ其

ノ成績特ニ優良ト認めタル者ハ本規定ニ依リ之ヲ表彰ス

第二條 土木出張所長ハ様式第一號ニ依リ修路工夫作業成績表ヲ毎月五日迄ニ提出スヘシ

第三條 土木出張所長ハ其ノ所屬修路工夫ニシテ前一箇年間ニ於ケル業務成績第一條ニ該當スルモノアルトキハ様式第二號ノ成績調書ニ意見ヲ具シ毎年十月末日迄知事ニ内申スヘシ

第四條 修路工夫ノ表彰審査ヲ爲サシムル爲審査委員會ヲ置ク

第五條 審査委員會ニ左ノ役員ヲ置ク

委員長 一名

副委員長 一名

委員 若干名

委員長ハ經濟部長副委員長ハ土木課長ヲ以テ之ニ充テ委員ハ廳内官吏ノ中ヨリ知事之ヲ任命ス

第六條 知事ハ前條ノ内申ヲ受ケタルトキハ審査委員會ヲシテ之カ審査ヲ爲サシム

委員會ニ於テ實查ノ必要アリト認めタルトキハ調査員ヲ任命シ現場ニ付詳細調査ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第七條 審査ノ結果成績優良ナル者ニハ各  
土木出張所毎ニ左ノ等級ニ依ル賞狀様式

第八條 引續キ三年以上ノ表彰ヲ受ケテ特  
成績優良ト認メタル者ニハ徽章ヲ授與ス

第三號及賞金ヲ授與ス

前項ノモノ職務怠慢其ノ他不都合ノ行爲  
アリタルトキハ徽章ヲ返還セシム

- 壹等 拾五圓 一名
- 貳等 拾圓 二名以内
- 參等 五圓 五名以内

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則

様式第一號 修路工夫作業成績表(月分)

氏名	作業	勤務	作業區間	交通障 害物整 理狀況	作業及成 績ノ概要	作業 日數	休業 日數
	路綫						

備考

一、修路成績欄及整理狀況欄記載方法

(ロ) 交通障害物整理ノ狀況特ニ優秀ナ  
ルモノヲ特トシ以下(イ)ニ同シ

(イ) 作業區間修路成績特ニ優秀ナルモ  
ノヲ特優良ナルモノヲ甲普通ヲ乙其ノ

丙、ヲ記入スルコト

他ヲ丙トス

様式第二號

修路工夫業績調査			
調	査	項	目
調	査	項	末
一、修路工夫ノ氏名及其ノ生年月日			
二、前一年間ニ於ケル勤務ノ狀態			
三、擔當區域内ニ於ケル道路保全ノ狀 態並成績顯著ト認ムル詳細ノ事項			
四、表彰ノ等級			
五、其ノ他成績査定上必要ナル事項			

様式第三號

表彰狀

修路工夫 氏名

右者平素業務ニ精勵シ其ノ成績特ニ優良ニ  
シテ他ノ模範トスルニ足ル仍テ等賞ヲ授與  
シ茲ニ之ヲ表彰ス

昭和 年 月 日

青森縣知事

關東地方

東京府下神橋の開通

車京府南多摩郡淺川村淺川多磨御陵前  
の神橋淺川橋はかねて架橋中ノ處此程竣工を  
告げたので其の開通式が十一年十二月十三  
日舉行せられ宮内省、内務省、東京府其の  
他地元多數の官民參集しいとも嚴かに舉行  
せられた。

北陸地方

新潟縣下觀光道路改修着工

新潟縣では中頸郡直江津町から刈羽郡柏崎町に至る觀光道路の改修工事は愈々總工費四十餘圓五ヶ年繼續事業として起工することとなつた此路線は右の方遙かに佐渡ヶ島を眺めながら靈峰米山の嶮を越えて青海川に出るもので北陸道での天下の絶景として誇る所である。此工事が完成すれば國寶清水觀音堂の舊跡はじめ一帶の風光が世に出づることとなり尙且産業發展上にも飛躍をもたらすものと期待されておる。

### 新潟縣下橋梁架換工事の決定

新潟縣では十二年度に於て三十五ヶ所工費十三萬圓を以て全縣に亘り橋梁を架橋することとなつたが鐵材の高騰を思はせらるる今日果して豫算の通遂行し得るや否懸念さるのである。右架橋の橋名及工事額の見込は次の通である。

橋梁名	施行地名	豫算高
大野橋	中蒲原 黒崎間	二萬五千圓
太川橋	中蒲原 泉原川間	二萬圓
飛渡橋	中魚沼 下條間	一萬四千圓

### 地方通信

豐田橋	刈羽西中通	一萬九千圓
稻田橋	中頸城新道 高田東本町間	一萬三千圓
(右監督雜費九千圓)		
新開橋	中蒲原會野木	四百六十圓
中江橋	新潟 沼垂	七百圓
土橋	西蒲原四ヶ谷	五百三十圓
中水門橋	西蒲原峯岡	六百五十圓
池ノ平橋	岩船郡鹽野町	二千圓
前山橋	北蒲原京ヶ瀬	五百圓
新木橋	北蒲原水原	千八百圓
勇橋	中蒲原七谷	四百圓
白崎橋	東蒲原三川	五百圓
境木橋	南蒲原森町	一千百零圓
裏田圃橋	三島 桐島	六百圓
蓬萊橋	古志富會龜	二千八百圓
海津小橋	佐渡加茂町	千二百圓
石名川橋	佐 渡 高 千	千八百圓
新開橋	刈羽郡柏崎	七百五十圓
箆橋	刈羽西中通	八百圓
三淵澤橋	北魚沼須原	八百五十圓
小山橋	中魚沼上野	千三百圓
原橋	北魚沼小出	千二百圓
桂澤橋	南魚沼六日町	千三百圓

田澤橋	南魚沼 東	四百五十圓
堂ノ入橋	南魚沼浦佐	五百五十圓
宮下橋	東頸城安塚	四百圓
山崎橋	東頸城菱里	千四百圓
石谷橋	中頸城源	千五十圓
上前田橋	中頸城水上	五百圓
一本橋	中頸城津有	二千五百圓
中江橋	中頸城三郷	千五百圓
出村橋	西頸城能生	三百圓
平田橋	西頸城西海	三百圓

(備考特に註なきものは全部コンクリート橋)

### 石川縣に於ての道路改修の經濟的影響

道路の改良に伴ふ經濟的效果如何は興味ある問題であるが今回石川縣の金澤稅務署では大正十五年以來、十年ぶりに管下一市二郡の土地賃賃價格の査定を行ひ改訂稅額を實施することになつた、この査定より見た金澤市の動きは昔百萬石お城下町當時北陸の日本橋としてその榮華を謳はれた武藏ヶ辻、尾張町より橋場町を結ぶセンターラインが漸次南に移動しつつある情勢をはつ

きり物語つた、殊に南端國道の開通は都心との交通便で沿線の水田地帯を一躍恰好の住宅地に引上げ、このため野町、六斗林町一帯の高臺は地價が鰻のぼりに急騰して現在の時價は前期より六十割高の三十圓臺を突破して斷然値上りのトップを切つた。次

は彦三大通りの開通で同じく沿線地帯が三、四割かたの高騰、この大通りの起點をなす武藏ヶ辻はそのかみの勢威を保つて片町とくもに第一級地の横綱を張り一歩もヒケを取らない健闘ぶりはさすがだ、北陸の銀座と自負し絢爛たるネオンの花トンネルで孔雀のやうに傲然と金澤に君臨する片町の實祿は堂々たるもの、土一升金一升の誇稱もあながち誇大とはいへない。最低圏で坪坪五百圓臺は越してゐる。この片町を中心とする堅町、新堅町、英町、石浦町の商店街が尾張町と同格に追ひつきいづれも實質の地價値上りよりも發展趨勢にある地帯として大幅の査定價格引上げは免れない。面白いのはこのビジネス・センターの核に位する香林坊の橋口にチョココンと約二坪の三角地帯に危ふげに立つ宇都宮の繪葉店、奥行やつと一間のあの店が千五、六百圓出

しても所有主が一向にウンといはないことだ、もつとも全市の宣傳戦がこの一點で凄愴な火花を散らすところではあるが、一つの奇觀である。

### 福井縣の惡道の汚名返上

#### 計畫の決定

福井縣では産業福井の名にふさはしき道路網の完備を急務中の急務なりとし其の大計畫を樹立して「福井の惡道路」との定評の汚名を返上することとなつた其の計畫の大要を見るに左の如きものである。

縣内の道路の現況を見ると國道は十二號線（死田、敦賀、武生、福井、丸岡經過）延長一〇六、二キロと三十五號線（敦賀、三方、小濱、高濱經過）延長八一・二キロの二線がありこのうち改良されたものは五ヶ所僅かに一〇四キロで未改良一七六、五九キロもある。つぎに府縣道は二百八總、延長一、七一・四・五キロ、うち幹線重要道路延長五四三、五五キロあつて未改良は二二七・七キロで國縣道とも實に悪く線形は屈曲勾配不整の悪い名を全部冠せられ舊態のままの險道で福井縣産業振興の大きな痛であり

軍事上にも重大な影響があるので、いよいよ内務省も今十二年度から國道十二號線の一部敦賀木ノ本間の改良を三ヶ年繼續事業として工費九十萬圓で直轄施行するが、これが名敦産業道路工事の第一着手である。さらに府縣道幹線道路の未改良區間は毎年四十五萬圓づつ十一年度から九ヶ年計畫で

總工費四百五萬圓、延長二百二十七キロ餘を完了、なほこの幹線道路の支線、培養線とも見られる府縣道の局部改良は緊急を要する一八九キロ、工費四百五十萬圓を投じて施行するが十二年はまづ二十萬圓、今後毎年縣財政の許す範圍で支出を繼續するから今後十二、三年後には縣内國縣道路はすつかり面目を一新して縣下隈なく四面八達のドライヴウェイが完成、多年懸案の福井—永平寺—蘆原—三國—吉崎のドライヴ觀光ルートにも實現を見ることになつた。

## 東海地方

### 靜岡縣下宇佐美トンネル

#### の難工突破

静岡縣下温泉餘土の化學的障壁に逢着し

世界的難工事といはれ幾度か其の遂行を危ふまれた伊東線の宇佐美トンネルも科學を誇る國鐵當局者の不撓不屈の努力に依り愈々最後の難關を突破し自然への挑戦の勝利を得ることとなつた。此トンネルは網代驛より約二百米延長二千九百二十米の單線斷面特殊丸型逆巻法で網代口は昭和八年一月宇佐美口は同年十二月それ／＼着工初期の貫通豫定は十年九月であつたが攝氏三十六度五と言ふ苦熱の温泉餘土にぶつかり坑夫はこの苦熱地獄と戦ふため一日四百貫もの氷柱を使い最も難工事の時は十五米を一ヶ月餘も要したといふ状態であつた。従つて工費も百三十萬圓が二百二十萬圓に跳上り最初請負工事であつたものが鐵道省直轄工事に移つたといふ鐵道建設史上劃期的難工事であつたが、十一年十二月十二日日本省から淺見建設局工事課長が出張、星野熱海建設所長の手によつて最後の爆破が行はれ目出度く貫通、同十一時から網代口廣場で貫通式を舉行、伊東町でも午後一時から河名ホテルで祝賀式を催すことゝなつた同トンネル工事が總てを終り伊東まで開通する

のは昭和十三年秋の豫定である。

### 三重縣榑田橋竣工式の舉行

三重縣飯南郡榑田村と漕代村の間を流れる榑田川にかゝる榑田橋の改修工事は十一ヶ月振りに見事完成本年一月九日竣工式を擧げた。この橋は第一號國道線にかゝつた大きなもので總工費十三萬六千圓延長二百十五メートル、幅員七メートル五〇で鋼板桁橋俗にブレイカー式といはれてゐるもので野呂組が請負つたものだが一切は大正工業の手でやつた。將來のことを考慮し普通の道路よりも幅員を廣くしてあり全く理想的に出來てゐる。

## 近畿地方

### 奈良縣下百壽橋の渡初式

#### 舉行

奈良縣生駒郡郡山町舊大手前城濠の橋梁は同町矢田町百島芳松氏の寄附により工費三千百圓で架橋工事中の處此度竣工したのて舊臘九日其の渡初式を舉行した、同橋は

鐵筋コンクリート二重橋型で兩端の橋欄には城址を偲ぶ椿電飾を設備し明朗なるモダン橋で百壽橋と命名した。

## 中國地方

### 廣島縣道路維持修繕成績

#### 優秀土木出張所表彰

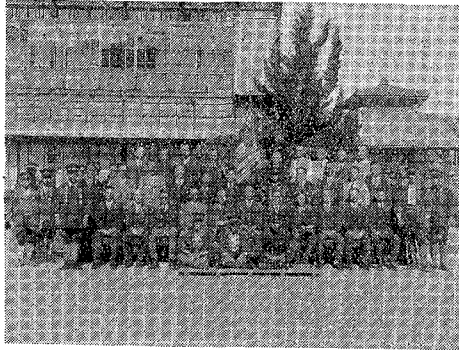
廣島縣に於ては客年九月一日を期して路面の劃期的改善にを傾注し種々全力劃策努力の結果今や路面は縣下全般に互りて著しく改善せられ縣民より噴々たる好評と感謝の聲を聞きつゝあるの現状に鑑み今回之を維持修繕成績の最も優秀なる土木出張所を道路改良會廣島縣支部に於て別記規程に依り、優秀旗賞狀及賞金を授與して表彰するの制度を設け別記廣島縣土木出張所道路維持修繕成績審査手續に基き夫々審査員を任命して仔細に審査せしめたる報告に基き左記土木出張所を表彰することゝなり十月二日廣島市縣教育會館に各土木出張所長と修繕工夫代表者等を招集して知事代理及道路

關係職員並に多數來賓臨席の下に之か表彰式を舉行せり(寫眞は其の實況)

記

一等

吉田土木出張所



優秀旗及賞金五拾圓

二等

三次土木出張所

賞金參拾圓

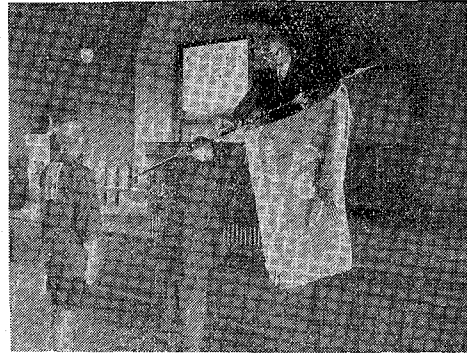
三等

福山土木出張所

同

廿日市土木出張所

賞金各貳拾圓究



廣島縣土木出張所道路維持修繕成績表彰規程案

第一條 道路ノ整美向上ニ關スル思想ノ普及及涵養ヲ圖リ及國道、府縣道ニ關スル維持修繕ノ完全ヲ期スル爲本規程ノ定ムル所ニ依リ其ノ成績優秀ナル廣島縣土木出張所ハ之ヲ表彰スルモノトス  
第二條 前條ノ表彰ハ十月一日ヨリ翌年九月三十日迄ヲ一期トシ前年度ニ於ケル廣

島縣土木部ノ審査成績ニ基キ毎年一同十月左ノ三等級ニ區分シテ之ヲ行フ 但シ優秀旗ハ授與シタル次年ノ表彰式當日ニ至リ之ヲ返附セシムルモノトス  
一等 賞狀並ニ賞金五拾圓及優秀旗  
二等 賞狀並ニ賞金參拾圓  
三等 賞狀並ニ賞金貳拾圓

附則

第一回ノ表彰ハ昭和十年九月一日ヨリ昭和十一年九月三十日迄ノ成績ニ依リ同年十月云ヲ行フモノトス  
廣島縣土木出張所道路維持修繕成績審査手續

第一條 道路課係員ハ常時道路ノ整美向上ニ關スル思想ノ普及及涵養ニ關シ及國道府縣道ノ維持修繕ノ完全ヲ期スルニ付各土木出張所員熱意ノ程度及各其ノ土木出張所管内ニ於ケル國道府縣道ニ關スル維持修繕ノ良否並ニ沿道取締ノ狀況等ヲ觀察シ以テ成績ノ考查ニ資スヘシ  
第二條 各土木出張所長ハ毎年十月十五日迄ニ前年十月一日ヨリ其ノ年ノ九月三十日ニ若ル一年間ノ成績ニ付左ノ各號ニ依ル調書ヲ土木部長ニ提出スヘシ。

一、道路維持修繕施行状況ニ關スル調査  
(第一號様式)

二、沿道取締並ニ交通障礙物整理施行状況  
ニ關スル調査(第二號様式)

三、道路ノ維持修繕ニ付寄與ヲ爲シタル市町村其ノ他ノ團體等ニ關スル調査(第三號様式)

第三條 成績ノ審査ハ左ノ各號ノ區分ニ從フ探點ニ依ルモノトス

一、十月一日ニ於ケル狀況 最高二十點

イ、土木出張員一人當國道府縣道ノ延長面積最大ニシテ且地形最モ惡シキモノ 最高六點

ロ、交通量ニ比シ道路ヲ構成スル地質ノ劣惡ナルモノ及砂利碎石以外ノ道路維持修繕材料ヲ得ルニ最モ困難ナルモノ 最高七點

ハ、道路橋梁ノ保持及沿道ノ取締並ニ交通障礙物整理ノ成績等最モ惡シキモノ 最高七點

二、十月一日ヨリ翌年九月三十日ニ至ル迄ノ成績 最高八十點

イ、土木出張所長所員修路工夫相互間ノ連絡方法及修路工夫指導方法最モ良好

地方通信

ナルモノ 最高五點

ロ、道路ノ排水設備除雪等最モ良好ナルモノ 最高十點

ハ、道路小修繕用材料ノ選定及之カ使途並ニ使用方法最モ適當ニシテ且良好ナルモノ 最高五點

ニ、人夫等ノ雇傭及其ノ使役方法並ニ使役ノ實績最モ適當ニシテ且良好ナルモノ 最高五點

ホ、路面ノ最モ良好ナルモノ 最高二十點

ヘ、道路小修繕工事施行ノ狀況最モ良好ナルモノ 最高五點

ト、市町村其ノ他ノ團體等ニシテ道路ノ維持修繕等ニ付寄與シ其ノ效果最モ大ナルモノ 最高五點

チ、橋梁其ノ他ノ道路附屬物ノ管理成績最モ良好ナルモノ 最高十點

リ、沿道ノ取締並ニ交通障礙物整理ノ成績最モ良好ナルモノ 最高十點

五點  
以下略

## 廣島縣十年計畫の道路大改良

廣島縣では十ヶ年計畫一千萬圓の巨費を投じて十年度から着手した全縣下道路改良大工事は第一着手において二十萬圓で三五路線の改良工事を終つたが十一年度は縣費八十萬圓、國庫補助十萬圓、合計九十萬圓の事業費をもつて計畫第二年に入りいよゝ縣下全面的本格的改良工事を進めることになりこのほど國道十路線縣道九十二路線合計百二路線の事業路線を決定告示した(括弧内は路線)

國道 福山市西神島町、佐波町地内△三原市糸崎町△賀茂郡莊野村、豐田郡南方村地内△安藝郡瀬野村△佐伯郡玖波町△同小方村△同大野村△福山市神島町より西霞町△尾道市久保町尾崎町地内△廣島市已斐町地内

縣道 廣島市、三篠本町一、二丁目(廣島、松江線)古田町(石内、草津)西白鳥町(三篠、海田市)△安佐郡飯室村(可部、加計)落合、村口田村地内(可部、



宇品港) 深川村(可部、西條) 八木村(水内、可部) 日浦村(同上) 久地村(廣島加計) △安藝郡熊野町(熊野、矢野) 倉橋島町(鹿老渡、音戸) △佐伯郡大竹町(大竹、本郷) 栗谷村(渡ノ瀬、大竹) 上水内村(所山、廿日市) 淺原村(廿日市本郷) 砂谷村(加計、廿日市) 河内村(同) 觀音村(同) 玖波町(所山、玖波) 廿日市町、平良村地内(三和、廿日市線、廿日市、停車場線) △賀茂郡廣村(西條、吳) 内海町、三津口町地内(三津、内海) 内海町(内海、吳) 川尻町(同) 廣村、仁方町地内(同) 西高屋村(川源、西條) 御園宇村(西條、三津) 野路村(内海、熊野) 竹原町(中屋谷、竹原港) △山縣郡加計町(廣島、加計) 筒賀村(下吉和加計) 八幡村(加計、濱田) 雄鹿原村(同) 中野村(雄鹿原、加計) 美和村(移原、大朝) 原村(雄鹿原、可部) 都谷村(同) 安野村(戸谷、五日市) 大朝町(大朝、加計) 川迫村(新庄、壬生) 壬生町(壬生、三次) △高田郡田町吉田、八重) 横田村(吉田、大森) 同村(壬生、三次) 本村(吉田、大森) 生桑村(甲山、大森)

甲立町、船佐村(甲立停車場、粕淵) 刈田村、山縣郡壬生町地内(壬生、井原停車場) △豊田郡川源村(吉田、大河) 河内町豊田村地内(甲山、河内停車場線) 戸野村(寺郷、大河) 河内町(甲山、西條) 東野村(大串木ノ江、脇浦木ノ江) 大乘村(竹原、忠海) 忠海町(忠海、三原) 船木村(河内、三原) △深安郡千田村(尾道、井原) 山野村(山野、福山) △神石郡油木町(東城、福山) 小畠村(油木、府中) 油木町(廣島、油木) 草木村(同) 高光村(上、下東城) 永渡村(同) △蘆品郡戸手村より驛家村(庄原、福山) 有隣村(府中、松永) 綱引村、常金丸村(油木、新市) △比婆郡庄原町(廣島、鳥取) 口北村(新市、三次) 山内北村(比和、三次) 庄原町(庄原、福山、三良坂、庄原、廣島、鳥取) 美古登村(比和、西條) 八幡村(東城、三成) 帝釋村(庄原、東城) △御調郡重井村(重井、土生) 西生口村(東生口、瀬戸田) 土生町(重井、土生) 向島東村) 歌、尾道) 宇津戸村、奥村(宇津戸、三原) △甲奴郡領家村(油木、三良坂) △世羅郡東村(庄原、

甲山) 神田村(甲山、河内停車場) 西大田村(甲山、大森) 東大田村(廣田、油木) 上山村(甲山、大森) 甲山町(廣島、油木) 小國村(小國、河内停車場) △雙三郡川西村(川西、三良坂) 川西村(三次、小國) 八幡村(吉舎、小國) 三良坂町(三良坂庄原) 三良坂町(油木、三良坂) 作木村(作木、三次停車場) △吳市宮原通地内(吳、音戸) △福山市舟町(福山停車場) 線同市驛前通(同) △三原市宇津木谷地内(廣島、油木) △尾道市十四日町(栗原、尾道)

### 廣島縣福山市の鋪裝化進捗

近代都市美の形成を急ぐ福山市では市内國縣道鋪裝計畫と相まつて昭和八年度以來十年度までに既に八萬二千圓を投じて市内幹線道のアスファルト鋪裝に着手現在早くも舊市内主要道の五分方近くを鋪裝したので更に十一年度工事として三萬二千餘圓をもつて市道改良鋪裝すべく目下當局に工事認可申請中で近く指令あり次第第一齊に着工全市道鋪裝化の目的に邁進することになつた。

## 山口縣に於ての標語ボス

### ターの懸賞募集

山口縣に於ては縣民一般に道路愛護の觀念を普及せしむる目的を以て昭和十一年十月道路愛護に關する標語、ボスター、作文の懸賞募集を行つた所鈴木土木課長以下各審査員に於て審査の結果左記の適當選標語を決定し十二月之を發表した。尙この標語は當選ボスターに編入印刷し廣く縣民に呼びかけ道路愛護の思想を涵養する計畫である。

#### 標語

- |    |    |
|----|----|
| 一等 | 一名 |
| 二等 | 二名 |
| 三等 | 五名 |
- 前計畫實施の結果は  
標語應勝總句 三、八九人  
ボスター 一二二點  
作文 二六六點

#### 懸賞當選標語

- |               |    |
|---------------|----|
| 一等            | 一名 |
| この道、よい道、みんなの力 |    |
| 二等            | 二名 |

#### 地方通信

百萬一心愛せよ道路

護れこの道、文化の先驅

三等

五名

何時も良い道日頃の手入

通りよい道、住みよい郷土

愛護で固め感謝で通れ

伸びる道路にたゆまぬ愛護

榮えよ日本、拓けよ道路

## 四國地方

### 香川縣觀光路改築工事の進捗

香川縣に於て練工費六十二萬四千餘圓（國費負擔三分ノ二縣費は八割沿道地元二割負擔）を以て昭和九年度から工事に着手した國道二十二號路線（高松市と徳島市とを結び付く道路）改良工事は昭和九年度高松市花園町から詰田川川までを同十年度には詰田川橋から春日川川まで施工し同十一年度には春日川橋と同川から木田郡古高松村地内古柳場川の工事中である、十二年度に於ては古高松村古柳場川牟禮村薬師間二・四

キロもすでに豫算編成済みとなり、繼續工事もほとんど大丈夫の見通しがつき第一次測量も終了した。すなはち明年度事業路線は多少變更あるも古柳場川から屋島神社馬場を横ぎり四水古高松停留所から四水電車線路を一直線に財田、角屋、神明町を通つて八栗停留所に出で牟禮村宇薬師白羽神社馬場前までの改修を行ふもので四水電車は古高松停留所から現線路の北側を通つて八栗停留所に出るよう一部變更を見るらしい模様である。なほ屋島ドライブ・ウェイは縣營事業として新川東側から分岐せしめるものでこれら路線完成の曉は高松屋島間、高松、八栗間を僅かに十分に短縮し得て國立公園屋島、八栗の觀光客はもとより地元の觀光客誘致に多大の恩恵を興へるものとしてその完成を待たれてゐる。

### 愛媛縣道路網五ヶ年計畫の改修工事實現

北に青森縣四國に愛媛縣ありと惡道の代表地らしく稱せらるると考へたのであるまいが、愛媛縣の道路も本年度から繼續土木五ヶ年計畫によつて二十五路線の改修が

行はれることになつたのでやがて徐々に面目を一新することであらう、近代的道路は鋪装道路たるべしとあつて松山市はじめ今治、宇和島、八幡濱市でも市内道路の鋪装に着手してゐるが本年出現するモダン道路の主なるものゝ一つは縣道松山一高濱線であらう、十一年度指定府縣道改修線として昨年末から着工せられ縣廳傍のお濠を埋め更に赤十字病院北側の塀を取り除いて幅員の擴張が行はれてゐる、工費は約十八萬圓で高濱から梅津寺に至る岬約六百メートルの區間が短縮され第一棧橋から一直線に岬の東出にでこゝから梅津菅温泉へ直線コースとなり松山までのカーヴ箇所を削りとつて全區間で千九百四十四メートルを短縮、全長八千五百三十四メートルのアスファルト鋪装道路となる、更に伊豫鐵の施工してゐる電車路線の鋪装が出来次第温泉まで鋪装して港高濱と泉都とを自動車で十三、四分で結ばうとの計畫であり愛媛縣に一の名物が增えるわけである。

### 高知縣の道路改良事業

高知市の東支關高知後免間の道路鋪装は

明春の南國土佐博覽會開催を機として是非それまでに完成せしむべく縣土木課の手で着工、一部はすでに完成、未着手地帯たる下知、葛島間も工費一萬七千圓、大津、大窪間は四萬千餘圓をもつて着工することゝなり地許負擔金も決定してゐたが、土佐電氣軌道の鋪装問題が引つかゝつて今日まで遷延してゐたところ土電側も三萬六千餘圓をもつて軌道鋪装を施すことをやうやく承諾し、十日これに關する工費の點について縣に内示して來たので、縣では直に殘部工事にとりかゝることゝなつた明年三月上旬までには完成のはずで、これによつて高知後免間約三里の縣道はすつかりアスファルトで化粧されて絶好のドライブ・ウエーとなり、沿道民家は砂塵禍から免れることとなるわけである。又「室戸岬に勝る景観」として文豪田山花袋氏が折紙をつけた足摺岬は四國靈場中の白眉たる三十八番金剛福寺を擁しながら巡拜偏路のみかは觀光客を迎へることが甚だ少いので、中の濱、松尾地區間ならびに伊佐の一部を工費七萬圓上灘村窪津大谷間六萬圓で今春改修したが、これによつて清水町地區内で二里、上灘村地

區内で一里の第三期改修を終れば初めて岬まはりの線の完成を告げることになつたので、明春の土佐博覽會には是非とも殘餘の改修を終つて縣外から觀光客を迎へるべく躍進して居るから遠からず實現するものと期待されてゐる。

### 高知縣下別府村の森橋開通

高知縣高岡郡別府村地内森橋は淀川支流に跨り別府村を経て長者村大桐村に通ずる重要な橋梁の一であるが別府村では之を全部コンクリート橋橋に架橋換中の計を立て數ヶ月の日子と巨額の經費を投じて施工中あつたが、此程竣工したので舊臘二十七日渡橋式を舉行した、此橋梁の開通に依り別府村、長者村大桐村一帶の地の交通物産移出の便は非常に良好と成り文化の上に捧げる影響も亦甚だ大で有る。

### 高知縣下の道路愛護運動

高知縣長岡郡六臺山村では客歲十二月四日小學校に於て道路愛護會發會式を舉行した役場學校各職員男女青年會、在郷軍人分會、國防婦人會、消防組、小學校上級生等

六百餘名參集丸山縣道路技手參列頗る盛大であつた。幡多郡上灘村道路愛護會は近藤村長、駐在監督員等の努力により著しく其實績を挙げ先には第一區窪津愛護會員の延千七百二十時間餘に亘る努力奉仕あり、今回また去る三日第三區大岐愛護會では會長近藤善太郎氏以下青年團、處女團員で午前七時幡陽小學校に集合宮城遙拜後江口青年團長は各會員を六班に分ち各班長指揮下に會長以下一齊に作業に従事し管理當局として河野土木工手、野老山工手出張指導監督に當り午後五時延四・九五〇軒の全作業を終り記念撮影後解散した。

吾川郡上八川村道路愛護會では昨十二月五日午前七時を期し會長(村長)和田千代重氏以下總出動をなし同一日を奉仕作業に従事した。總人員三百六十名を算へ、全部を六班に分ち府縣道本山伊野線および本川伊野線(下は下八川村界、上は地藏寺、清水村界)延長十四キロに亘り、それ〴〵除草地面均し溝溝へ等に傍目もふらぬ熱心な作業をつゞけ午後五時見事な成績を舉げて終了したが當日管理當局として同村監督、土工工手等出張し指導監督に當り奉仕者の

地方通信

中には、會我伊勢治(六)渡邊勝吉(七)加地石吉(五)川村袈裟治(七)坂本ラクエ(七)藤原保吾(七)伊藤芳松(七)等の高齢者も交り壯者に劣らぬ熱意を以て作業につとめ實に涙ぐましい情景を展開し關係者および通行人を感激せしめた。△土佐郡本川では昨十二月八日長澤小學校で道路愛護會發會式を舉行した。參列者は縣土木課丸山道路技手田上高知土木出張所主幹、岡村監督、伊藤助役以下村吏員、山田校長以下職員、男女青年團、在郷軍人分會、國防婦人會、消防組、村會議員、各區長その他有志等で頗る盛會を告げた。△土佐郡布師田町では昨十二月十七日村吏員學校職員男女青年團在郷軍人分會消防組國防婦人會の諸團員集合丸山縣道路技手參列盛大なる道路愛護會發會式を舉行した。△長岡郡大津村では昨十二月十七日も學校で道路愛護會發會式を舉行した村吏員學校職員男女青年團員、在郷軍人分會員上級小學兒童其の他有志參集丸山縣道路技手等參列し盛會を告げた。

△同郡高須村では昨十二月二十一日小學校講堂に於て道路愛護會發會式を舉行した。丸山縣道路技手等參列し村吏員、學校職員

男女青年團員、在郷軍人分會員、國防婦人會員消防組員、上級小學兒童其の他の有志集合し頗る盛況を告げた。△香美郡横山町庄谷青年會支部では在所村府内より庄谷相の終點まで通ずる道路改修のため去る昨十二月十六日に青年男女が非常時にふさはしい働きを奉仕したこの改修道路は非常に木材が出るために破損してゐたので時節柄部落民に感謝されてゐる。この日は處女團は白エプロンで元氣よく働いて効果を舉げ青年團も甲斐々々しく立働いた因に青年男女は一人として酒や煙草を飲む者なく禁酒會も結成してをり貯金なども五ヶ年計畫で現在二百圓程となつてゐる。△吾川郡池川町では昨十二月二十三日皇太子殿下御三回御誕辰の佳日を卜して道路清淨奉仕をなした、この日連日の雨は晴れて冬至の風は身にしみたが道路愛護會長および各團體長の下に馳参したる團體道路愛護會員は勿論、國防婦人、男女青年團員、公設消防組、愛國婦人會在郷軍人、青年學校生徒ら凡そ町内の各種團體は總動員各小學校長は全兒童を引率して参加し華々しくも南北七里の本支線は奉仕の誠心にもゆる町民二千名を以

て埋めつくしたがなほ當日材料運搬に當るトラック茶沸しのため甲斐々々しく働く處女、東奔西走する團體長等客員と合し奉仕の人々をもつてしばし町内全地を塗りつぶした感があつた。

高知縣に投げかけられた

一大試練の路政問題

高知縣産業開發の動脈をなす府縣道はその總延長二・五二一・八七九・五米中尙未改修路線五十一、これが延長四七五・八三四・四米を残しこれが改修を如何にして完成すべきかは本縣土木行政上の最重要課題として注目されるところであるがその内容をみると左の如くである。

路線名	延長	工事費
馬路奈半利線	三九、二七・七	三、四、一八一
久木奈半利線	一九、三三・三	三、四、九四
東川和食線	六、六〇・〇	四、一、〇〇〇
奥木頭大柵線	三三、〇〇・〇	二、九、〇〇〇
西峯大柵線	一七、三三・五	一、三、四四五
本山山田線	一一、八四・六	二、八、五四六
濱改田高知線	二、九〇・三	三、四、二

小坂後免線	五、〇八・二	四、一、四五
弘瀬領石線	四、四七・二	三、五、八九七
東川本山線	二、三三・〇	四、一、五〇
弘瀬高知線	三、三三・三	二、六、九〇
弘瀬伊野線	四、一〇・八	二、六、三三
本山越知線	一、〇〇・〇	六、〇〇〇
池川伊野線	九、〇〇・〇	七、〇〇〇
日浦越知線	四、〇四・五	三、四、四六
宇佐須崎線	二、〇八・七	八、六、九四
長者佐川線	二、二七・三	八、九、〇六
越知宇和島線	二、〇九・一	九、四、四九
橋原久萬線	五、四三・〇	四、一、四〇
構原野村線	三、三六・〇	二、〇、八八
新田中村線	二、九〇・八	二、〇、四九六
田野々佐賀線	二、二四・七	三、〇、六五三
西上山中村線	三、七四・一	三、三、七四一
十川吉野線	三、〇〇・一	三、三、七三
富山川口線	七、三二・八	四、六、四〇
川登宿毛線	五、〇〇・〇	四、六、四六
下ノ加江宿毛線	七、五〇・〇	五、七、〇〇〇
足摺崎線	四、八〇・〇	三、三、七〇
清水足摺崎線	六、八〇・〇	七、五、〇〇〇
柏島宿毛線	五、九四・〇	四、七、五四
宿毛岩松線	二、七三・八	二、七、六三六

橋道

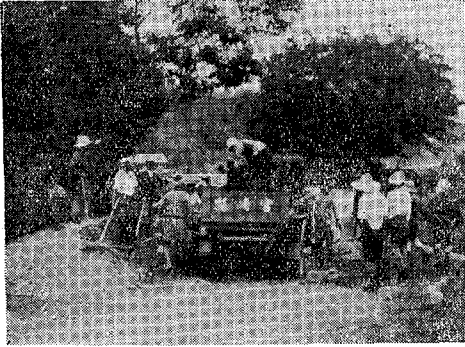
東川安藝線	四、五九・一	四、一、二
畑山安藝線	六、四〇・〇	五、七、〇〇
久保杉線	五、三三・三	五、三、三
川口池田線	九、八一・〇	八、八、九元
本山三島線	一、六九・七	二、七、三三
出來地西佐川線	九、〇五・七	九、〇、五七
宮ノ川下田線	六、三六・〇	七、六、三〇
下田宿毛線	五、五三・〇	四、四、四四
撫川安藝線	一、五〇・〇	一、五、〇〇〇
打井川中村線	八、九六・三	七、一、七四六
枋ノ木安藝線	四、三六・四	三、〇、五三
橋川野、野市線	六、五九・九	五、九、二元
蟹越天坪驛線	一、五九・五	一、五、九、五五
大河内朝倉線	三、六〇・〇	六、五、〇〇〇
停浪場線	七、二・〇	一、一、〇〇〇
停車場桑線	五、二八・七	四、二、三〇九
入野下田港線	一、三三・七	一、〇、九四三
山北岸本線	三、一七・三	二、六、一八四
池川小田線	五、四三・〇	四、〇、三〇
上ノ加江久禮線	七、七六・〇	九、九、八四四
未成	四、七五・八	四、四、四四
計	四、七五・八	四、四、四四

(幅員は何れも二・八米)

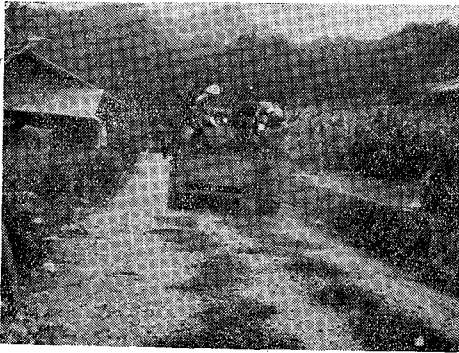
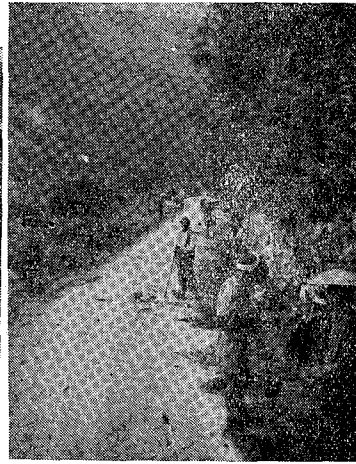
九州地方

## 宮崎縣の道路愛護週間

宮崎縣では茲數年來道路愛護の思想及宣傳並愛護作業の指導獎勵に力を盡して來て其の成績頗る見るべきものがあつたが昨年は去る十一月十七日から同月二十三日迄一週を期して道路愛護週間を實施して縣土木課治安課新聞記者團自動車協會其他關係機關總動員の形で愛護作業の實施並成績審査の爲の巡回等を施行した。



地方通信



此の企に賛同し自ら進んで出役奉仕したるものは週間中貨物自動車百十八臺荷馬車七百三十九臺人員凡そ三萬七千二百人で縣下の全市町村は殆ど之に参加したので週間中は全く道路愛護デーの一色に塗り潰された觀を呈した特に小學生婦人會青年團等が競つて此の行事に協力したこと、交通業者と地方團體の協力に依る砂利の運搬並之が數均し作業とは輒近交通の狀勢に鑑み洵に好ましき狀景として關係者を始め縣民一般の感激せる處であつた。寫眞は其の愛護作業の麗しい狀景の一部である。

## 朝鮮地方

過般新京で行はれた滿鮮國際河川橋梁架設の調印に本づき滿鮮當局では準備を急いでゐたが、明年度架橋する橋梁は次の三橋と決定明春解水期とともに着工する。

朝鮮側工事 滿城鎮(鴨綠江)  
會寧(豆滿江)

滿洲國側工事 長白(鴨綠江)